

# 北見工業大学学報

第274号 (2016年3月号)

## 目 次

学位記授与式	平成27年度学位記授与式を举行……………	2
告 辞	平成27年度学位記授与式告辞……………	4
入 試	平成28年度大学院入学試験(第2回)を実施……………	6
	平成28年度工学部一般入試を実施……………	7
研 究 助 成	平成27年度奨学寄附金の受入状況……………	8
人 事	人事異動……………	9
諸 報	平成27年度第2回安全衛生講習会を開催……………	13
	地元企業合同説明会を開催……………	14
	平成27年度合同企業研究セミナーを開催……………	15
	平成27年度第3回安全衛生講習会を開催……………	16
	北海道地域4大学1高専 新技術説明会に参加……………	17
	道新サイエンス教室に参加……………	18
	平成27年度永年勤務者表彰式(退職時表彰)を举行……………	19
日 誌	2月・3月……………	20

## = 学位記授与式 =

### 平成 27 年度学位記授与式を挙行

(総務課)

3月18日(金)、平成27年度学位記授与式が午前10時から北見市民会館で行われました。

学部380人の卒業生、大学院博士前期課程96人及び大学院博士後期課程5人の修了生に対し、高橋信夫学長から学位記が授与されました。

引き続き、学長告辞、辻直孝北見市長、倉本登後援会副会長、鳥越廣美同窓会会長

及び富田剛夫学生後援会会長からの祝辞の後、電気電子工学科・宮寄航さんが、「本学で学んだことを生かし、社会に広く貢献し、明るい未来を切り開いていけると信じています。」と答辞を読み上げ、式は無事終了しました。

卒業生、修了生の人数は下表のとおりです。

#### 学部

学 科 名	卒業生数(人)
機械工学科	86
社会環境工学科	62
電気電子工学科	63
情報システム工学科	61
バイオ環境化学科	70
マテリアル工学科・機能材料工学科	38
合 計	380

#### 大学院博士前期課程

専 攻 名	修了者数(人)
機械工学専攻	25
社会環境工学専攻	19
電気電子工学専攻	12
情報システム工学専攻	17
バイオ環境化学専攻	7
マテリアル工学専攻	16
合 計	96

大学院博士後期課程

専攻名	修了者数(人)
生産基盤工学専攻	2
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3
医療工学専攻	0
合計	5



学位記授与式の様子

## = 告辞 =

### 平成 27 年度学位記授与式告辞

学部卒業、大学院修了の皆さん、学位取得おめでとうございます。

皆さんのこれまでの努力が実り、めでたく学位記を授与されましたことに敬意を表し、北見工業大学の教職員を代表いたしまして御祝いを申し上げます。

本日はご多用な折にもかかわらず、北見市長の辻様、大学後援会副会長の倉本様、同窓会会長の鳥越様、学生後援会会長の富田様にご臨席を賜り、学位記授与式を挙行できますことに感謝申し上げます。

本年度は、学士の学位記を380人に、修士の学位記を96人に、そして博士の学位記を5人に授与いたしました。この中には、15人の留学生が含まれます。皆さんが学位記を授与されたことは、皆さんご自身の努力のたまものであることはもちろんのことですが、これまで皆さんを温かく見守り続けてこられたご家族を始めとした周りの方々の様々な支援のおかげでもあります。お世話になった方々への感謝の気持ちを大切にしていきたいと思っております。

本日は、この場に、ご家族の皆様にも多数ご出席いただいております。ご家族の皆様にご心からお慶びを申し上げますとともに、これまでのご苦勞と本学へのご協力の、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

さて、学士課程を卒業される皆さんが入学したのは、2012年の4月です。その前の年になります、2011年の3月11日には、悪夢のような東日本大震災が起きました。皆様は、その大きな爪痕が残る中、大学での生活を始めたこととなります。それ以降も、昨年の鬼怒川大洪水など、毎年のように、様々な大きな自然災害が発生しています。

自然界ばかりでなく、人間社会の情勢も世界規模で大きく変化し、益々その激しさを増しています。

工学に携わる私どもにとりましても、この数年、厳しい問題を投げかけられる事項が相次いでおります。昨年も、大企業の屋台骨を揺るがす大きな問題が発生しております。ドイツ・フォルクスワーゲン社による排気ガス不正問題、マンション等の建造物の基礎工事に関する問題などです。これらの事項は、技術者のモラルにも関係する重大な問題であり、工学技術者としては、あってはならないことであり、襟を正す必要があると感じております。

社会情勢が厳しさを一段と増す中、卒業あるいは修了される皆様の多くは、工学技術者として社会に船出することになります。そして、社会の荒波に身を曝し揉まれ、様々な困難に遭遇することになります。でも、私は心配しておりません。皆さんは、北見工業大学で学んだことを基盤として、それらの困難を乗り越え、現在の閉塞感を切り開く若々しい技術者として活躍してくれることを確信しております。工学に携わる私どもの基本は、研究等の取組対象に真摯に取り組み、地道な作業を継続し、確実な結果を積み上げることであります。皆様におかれましても、その基本をしっかりと守り、その上で、夢を大切に、そしてその実現を信じて、前向きに様々なことにチャレンジしていただきたいと思っております。

そして、5年先、10年先、大きく成長して、母校である北見工大を訪ねてきていただきたいと思っております。私ども大学の教職員も、皆様に負けないように、これまで以

上に教育・研究そして社会貢献の役割をしっかりと果たし、生き生きとした大学として確実に発展している姿を皆様にお見せできるようにしたいと思っております。お互い、頑張りましょう。

北見のこの冬は、この十年のうちでは、寒さの厳しい日々が多かった気がします。しかし、今日この頃は、日中の日射しも強く雪解けも進み、春の訪れが感じられるよ

うになりました。皆様の新たな船出を祝福するのに相応しいこの季節を迎え、本日、このように盛大に学位記授与式を挙行できましたことに、改めまして感謝申し上げますとともに、卒業生・修了生の皆様のこれからのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、学位記授与式にあたりましての告示とさせていただきます。

皆さん、本当におめでとうございます。

平成28年3月18日  
北見工業大学長 高橋 信夫

## = 入試 =

### 平成 28 年度大学院入学試験（第 2 回）を実施

（入 試 課）

平成 28 年度大学院工学研究科博士前期課程入学試験（第 2 回）を 2 月 9 日（火）（学力検査）、10 日（水）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

また、平成 28 年度大学院工学研究科博士後期課程入学試験（第 2 回）を 2 月 9 日（火）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

#### 博士前期課程

専攻名	募集区分		一般入試		社会人特別入試		外国人留学生特別入試		学部3年次学生対象入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
機械工学専攻	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0
社会環境工学専攻	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
電気電子工学専攻	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
情報システム工学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオ環境化学専攻	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
マテリアル工学専攻	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	17	15	0	0	1	1	1	1	1	1

#### 博士後期課程

専攻名	募集区分		一般入試		社会人入試		外国人留学生入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
生産基盤工学専攻	0	0	0	0	1	0	0	0
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	0	0	3	3	1	1	0	0
医療工学専攻	0	0	0	0	1	1	0	0
合 計	0	0	3	3	3	2	0	0

## 平成 28 年度工学部一般入試を実施

(入 試 課)

平成 28 年度工学部一般入試について、1 月 25 日（月）から 2 月 3 日（水）までの願書受付期間内に前期日程 502 人、後期日程 1,746 人の出願がありました。

前期日程は 3 月 7 日（月）に合格者を発表し、後期日程は 3 月 12 日（土）に個別学力検査を行い、20 日（日）に合格者を発表しました。各系の合格者数等は下表のとおりです。

### 前期日程

系 名	募集人員	志願者数	合格者数
機械・社会環境系	64	179	132
情報電気エレクトロニクス系	60	164	120
バイオ環境・マテリアル系	46	159	96
合 計	170	502	348

### 後期日程

系 名	募集人員	志願者数	合格者数
機械・社会環境系	56	725	90
情報電気エレクトロニクス系	45	641	77
バイオ環境・マテリアル系	36	380	60
合 計	137	1,746	227

= 研究助成 =

平成27年度奨学寄附金の受入状況

平成28年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄附目的	寄附者	寄附金額
	学長	高橋 信夫	ヨット部発展のため	北見工業大学ヨット部OB会	1,349,860 円
	学長	高橋 信夫	学生に対する支援	北見工業大学後援会	200,000
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	橋梁を含む工学研究のため	一般社団法人北海道開発技術センター	300,000
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	北見工業大学生協同組合	505,391
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	株式会社アベックス北海道支社	161,537
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	株式会社伊藤園	654,370
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	655,920
社会環境工学科	准教授	中村 大	補強土壁の凍上・融解耐久性に関する実験研究のため	東京インキ株式会社加工品営業本部	250,000
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	工学研究のため	株式会社ドーコン	300,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	工学研究のため	株式会社ドーコン	500,000
社会環境工学科	准教授	中村 大	工学研究のため	有限会社シー・エス・プランニング	600,000
情報システム工学科	准教授	鈴木 育男	情報システム工学の研究	株式会社トリニティ・ドゥ	400,000
機械工学科	准教授	渡辺 美知子	機械工学の研究	株式会社トリニティ・ドゥ	400,000
バイオ環境化学科	教授	佐藤 之紀	平成27年度学術研究助成金として	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	1,400,000
社会環境工学科	教授	三上 修一	工学的研究推進のため	三上 修一	1,000,000
	学長	高橋 信夫	学生に対する支援	北見工業大学後援会	768,436
機械工学科	准教授	星野 洋平	ママチャリレース・ロボコン等の課外活動の参加支援	星野 洋平	100,000
	学長	高橋 信夫	学生に対する支援	北見工業大学後援会	768,436

平成27年度累計75件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○文部科学省発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
28.3.31	国立大学法人北見工業大学監事	前 晉爾	任期満了退職
28.4.1	国立大学法人北見工業大学監事	佐藤 正行	国立大学法人北見工業大学監事 (任期：平成32年8月31日まで)
〃	谷口雅子公認会計士事務所所長	谷口 雅子	国立大学法人北見工業大学監事 (任期：平成32年8月31日まで)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
28.3.1	出向(独立行政法人国立青少年教育振興機構国立大雪青少年交流の家事業推進室)	西尾 貴則	総務課主任(出向からの復帰)
28.3.31	理事	小野 薫	任期満了退職
〃	工学部教授	尾崎 義治	定年退職
〃	工学部教授	富士 明良	定年退職
〃	工学部教授	野矢 厚	定年退職
〃	工学部教授	平賀 啓二郎	定年退職
〃	工学部教授	鞆師 守	定年退職
〃	工学部准教授	植田 孝夫	辞職
〃	工学部准教授	今井 正人	定年退職
〃	工学部准教授	伊藤 英信	定年退職
〃	工学部准教授	射水 雄三	定年退職
〃	工学部准教授	笹川 涉	辞職
〃	工学部講師	伊藤 好二	定年退職
〃	工学部助教	石谷 博美	定年退職
〃	学生支援課長	高橋 伸治	辞職(帯広畜産大学へ転出)
〃	学生支援課副課長	田巻 美江子	定年退職
〃	総務課係長	小林 則子	定年退職
〃	総務課主任	西尾 貴則	辞職
〃	出向(北海道大学財務部調達課)	大内 俊輔	辞職(北海道大学へ転出)
〃	技術部大学運営支援室技術専門員	平松 雅宏	定年退職

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
28.4.1	理事・副学長	吉田 孝	理事・副学長、研究推進機構長及び研究支援本部長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	理事・副学長	田村 淳二	理事・副学長及び教育支援機構長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	小樽商科大学理事・副学長	大矢 繁夫	理事 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	柴野 純一	副学長、学術情報機構長、図書館長及び医療工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	川村 彰	副学長、基盤研究推進本部長、社会連携推進機構長、 基盤研究推進センター長、応用研究推進センター長、 生産基盤工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	山下 聡	学長補佐及び寒冷地・環境・エネルギー工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	野矢 厚	学長補佐（特任教授） （任期：平成30年3月31日まで）
〃	沼津工業高等専門学校・副校長	蓮實 文彦	学長補佐（特任教授） （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	鞘師 守	学長補佐（特任教授） （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	鈴木 聡一郎	産学官連携推進本部長、共同研究推進センター長、社会 連携推進センター長及び冬季スポーツ科学研究推進 センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	南 尚嗣	環境・エネルギー研究推進センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	有田 敏彦	知的財産センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	阿部 良夫	機器分析センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	羽二生 博之	ものづくりセンター長、機械工学科長及び機械工学専 攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	升井 洋志	情報処理センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	許斐 ナタリー	国際交流センター長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	本田 明	保健管理センター所長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	山田 貴延	技術部長 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	三上 修一	社会環境工学科長及び社会環境工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	黒河 賢二	電気電子工学科長及び電気電子工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	亀丸 俊一	情報システム工学科長及び情報システム工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	齋藤 徹	バイオ環境化学科長及びバイオ環境化学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	川村 みどり	マテリアル工学科長及びマテリアル工学専攻主任 （任期：平成30年3月31日まで）
〃	工学部教授	木村 章男	共通講座主任及び各専攻共通主任 （任期：平成30年3月31日まで）

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
28.4.1	工学部准教授	前田 康成	工学部教授
〃	（新規採用）	蒲谷 祐一	工学部准教授
〃	工学部助教	金 敬鎬	工学部准教授
〃	工学部助教	浪越 毅	工学部准教授
〃	研究協力課専門職員	内島 典子	工学部准教授
〃	工学部特任助教	ゾ イ	工学部助教
〃	（新規採用）	山内 翔	工学部助教
〃	工学部特任助教	木場 隆之	工学部助教
〃	工学部特任助教	小針 良仁	工学部助教
〃	事務局長（学長企画室長兼務）	茶島 豊	事務局長
〃	文部科学省初等中等教育局財務課生涯生活設計専門官（併）教育財政室補佐（命）官房会計課地方財政室補佐	谷川 敦	事務局次長
〃	総務課副課長（係長兼務）	坂田 寿	学長企画室長
〃	北海道大学学務部学務企画課課長補佐	菅原 暢廣	学務課長
〃	総務課係長	山本 涉	出向（室蘭工業大学）
〃	学生支援課副課長（係長兼務）	藤田 美代子	学務課学生支援室長
〃	学長企画室副室長	久田 貢	総務課副課長
〃	研究協力課副課長（係長兼務）	二村 肇	財務課副課長
〃	入試課副課長（係長兼務）	渡部 孝弘	研究協力課副課長（係長兼務）
〃	学生支援課副課長（係長兼務）	斉藤 順	学務課副課長
〃	財務課副課長	齊藤 敏浩	入試課副課長
〃	学長企画室主任	上野 祐輔	学長企画室係長
〃	情報図書課主任	泉 真理恵	総務課係長
〃	室蘭工業大学地域連携推進グループ研究協力ユニットスタッフ	大倉 卓也	総務課係長
〃	学生支援課係長	川島 恵也	学務課係長
〃	学長企画室係長 （学生支援課専門職員兼務）	内山 彰	学務課係長
〃	学生支援課係長	木村 加寿美	学務課係長
〃	学生支援課係長	原 亜喜子	学務課係長
〃	学生支援課係長	工藤 圭輔	学務課学生支援室係長
〃	学生支援課主任	白鳥 和枝	学務課学生支援室係長
〃	財務課主任	原 勇介	入試課係長

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
28.4.1	施設課技術職員	上妻 武広	施設課主任
〃	学生支援課主任	後藤 将大	学務課主任
〃	学生支援課事務職員	森原 早紀	学務課主任
〃	総務課事務職員	反保 恵佳	情報図書課主任
〃	総務課事務職員	笠川 勇将	出向（日本学術振興会）
〃	文部科学省（研修生）	奥村 由理香	総務課事務職員
〃	（新規採用）	影浦 隆之	財務課事務職員
〃	（新規採用）	牧野 立夜	研究協力課事務職員
〃	（新規採用）	尾谷 修斗	学務課事務職員
〃	学生支援課事務職員	佐藤 匠	学務課学生支援室事務職員
〃	学生支援課事務職員	源藤 拓也	学務課学生支援室事務職員
〃	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ情報処理係	熊本 慎也	技術部大学運営支援室情報処理支援グループ技術専門職員
〃	技術部学部・大学院支援室ものづくり支援グループ機械工作技術係	石澤 真也	技術部学部・大学院支援室ものづくり支援グループ技術専門職員

## 平成 27 年度第 2 回安全衛生講習会を開催

(総務課)

2月26日（金）、平成27年度第2回安全衛生講習会を開催し、教職員約30人が参加しました。

本講習会は、職場における安全衛生水準の向上の啓発を目的に、メンタルヘルスと生活習慣病予防の2つのテーマについて、講演を行いました。

まずは、北見市保健福祉部健康推進課成人保健係保健師の谷口智里氏より「知っておきたい“こころの健康”」と題してお話いただきました。職場におけるメンタルヘルス・ストレス予防について、仕事や職業生活におけるストレスの原因、メンタルヘルスケアの重要性及びストレスとの上手な付き合い方等の視点から説明をいただきま

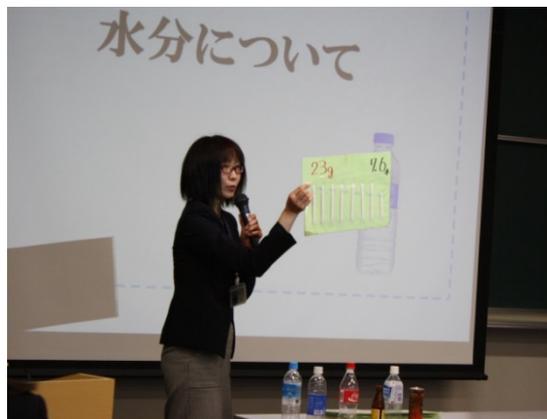
した。

次に、同課栄養指導係管理栄養士の抜山有貴子氏より「働く世代の食事～ウソ・ホント」と題してお話いただきました。社会人が陥りがちな食生活の悪循環を見直すポイントとして、朝食を必ず食べること、野菜の摂取量を増やすこと及び休肝日を設けること等が大事であるとの説明をいただきました。

参加した教職員は熱心に聴き入りながら、メンタルヘルスに対する認識と対処法への理解を深めるとともに、食生活の改善などを通じた生活習慣病予防に関する認識を新たなものにしていました。



講演する谷口氏



講演する抜山氏

## 地元企業合同説明会を開催

(学 務 課)

3月1日(火)、本学第一体育館において「地元企業合同説明会」を開催しました。

本説明会は、地元の専門学校や大学に通う学生が北見市内の企業に就職し、地域経済活性化を目指そうという目的のもと、本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター及びKITげんき会との共催で開催されました。昨年4月に引き続き2度目の開催となりましたが、今回は各企業・団体が体育館に一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄り、ブース形式での実施となり、参加企業数も北見市を含む近隣5市町の約50社へと増加しま

した。

3月1日(火)は、現学部3年生・大学院博士前期1年生の就職活動解禁日でもあり、自動車ディーラー、金融、建設、情報サービス、公務などの企業・団体が、来春卒業予定の本学学生や専門学校生ら約70名の参加者に対し、業務・採用に関する説明を行いました。

セミナー会場では、参加した学生らが企業担当者の話に熱心に耳を傾ける姿が見受けられました。これを機に企業とのマッチングが成立し、オホーツク地域の活性化に繋がることを期待しています。



全体説明会の様子



各企業ブースでの様子

## 平成 27 年度合同企業研究セミナーを開催

(学 務 課)

3月2日(水)から9日(水)までの土日を除く6日間、本学講義室において合同企業研究セミナーを開催しました。

セミナーは、午前と午後の冒頭に実施される全体説明会の中で、各企業が自社をPRする2分間のプレゼンテーションを行い、その後各講義室に移動し3回のセミナーを行うという形式で、学生は1日最大6社のセミナーを受講することが可能です。また、お昼には情報交換会が開かれ、企業の担当者、就職担当教員、学生等が参加して交流を深めながら、就職に関する様々な話が交わされました。

就職活動のスケジュールは、昨年は経団連のルール変更により日程が繰り下げられましたが、今年は面接等の選考活動の解禁

が4年生の8月から6月に前倒しされ、2年連続での日程変更となります。3月に開催する合同企業研究セミナーは今年で2度目となりますが、初日から前日の吹雪の影響により参加をキャンセルする企業もあり、6日間の参加企業数は計192社、参加学生数はのべ4,320名、1社あたりの参加学生数は22.5名となりました。

連日の開催の中、学生には多少の疲れも見られましたが、企業との出逢いを求め積極的に担当者の話を聞いている姿が見受けられました。学生の皆さんの就職活動が実りあるものとなるよう、次年度に向けてもさらに時期や規模などを検討していく予定です。



全体説明会の様子



情報交換会の様子



個別セミナーの様子

## 平成 27 年度第 3 回安全衛生講習会を開催

(施 設 課)

3月3日(木)、第3回安全衛生講習会を第2体育館にてアスリンク代表・前崎さやこ氏を講師にむかえ開催しました。当日は教職員約15名が参加しました。春に向けて冬の運動不足による肩や腰のコリの解消を目的とし、軽量ソフトダンベルを利用したエクササイズを行いました。

これらは、体力、男女や年齢に関係なく

楽しみながら行えるもので、90分間の講習の後は身体全体がリラックスできたとの声が聞かれました。

講習の参加者を対象としたアンケートには、「肩こり等の改善が感じられた」、「自分の体を見直す良い機会となった」等の感想が寄せられました。



前崎氏による挨拶



前崎氏に合わせて体を動かす参加者

## 北海道地域4大学1高専新技術説明会に参加

(社会連携推進センター)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と北海道大学産学連携本部が主催する北海道地域4大学1高専新技術説明会が、3月8日(火)、JST東京本部別館1Fホールで開催されました。本説明会は、大学や公的研究機関等の研究者が研究成果について説明し、成果の実用化に向けて広く共同研究のパートナーや開発技術の実施企業を募る場です。北見工業大学も協力機関として参画しています。今回は大学関係者、産学官連携支援機関、産業界から約60人の来場がありました。北見工業大学からは、電気電子工学科橋本泰成准教授が参加し、「脳インターフ

ェースを使ったネット仮想空間の操作技術」と題して研究の成果を説明しました。プレゼンテーションの後には研究の成果に興味を持つ企業の方々と各先生方との個別相談が行われ、さらに深い技術や共同研究の可能性等について話し合いが行われました。新技術説明会は、発表者の研究力向上に繋がる貴重なネットワーク形成の機会であり、また今後の研究・産学官連携の発展に向けた有意義な広報・情報交換の機会でもあります。今後も積極的な参加・発表を継続していきたいと考えています。



新技術説明会会場



研究を紹介する橋本准教授

## 道新サイエンス教室に参加

(社会連携推進機構)

3月26日(土)、北海道新聞北見支社で道新サイエンス教室が開催され、本学の教員及び学生が参加しました。

このイベントは、北海道新聞北見支社が初めて企画したもので、本学の他、北海道ガス(株)北見支店からも参加協力しました。

会場には、本学から4テーマ、北海道ガス(株)北見支店から1テーマの合計5テーマのブースが設置され、北見市及び近郊の小

学生及び保護者ら80人ほどが参加しました。

子どもたちは限られた時間の中で、ロボットの操縦体験や水の電気分解実験、ミニソーラーカー作り、液体窒素を使ったアイスクリーム作り等に、積極的にチャレンジしていました。

参加者から、今度はいつ開催するかとの質問が出る等、科学への興味・関心を引き出すよい機会となりました。



会場の様子

## 平成 27 年度永年勤務者表彰式(退職時表彰)を挙行

(総務課)

平成28年3月31日をもって35年以上在職し退職された方々に対する本学永年勤務者表彰式を、3月31日(木)に学長室で行いました。

表彰式では、永年勤務し退職された9氏に、高橋信夫学長から表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。

次いで高橋学長から、被表彰者の方々の北見工業大学に対する永年にわたる精励と努力に対し、深い敬意と感謝の意が表せられました

なお、このたび表彰を受けられた方々は、以下のとおりです。(50音順)

氏名	所属学科等
石谷 博美	機械工学科
伊藤 好二	バイオ環境化学科
伊藤 英信	マテリアル工学科
今井 正人	情報システム工学科
射水 雄三	マテリアル工学科
小林 則子	総務課
田巻 美江子	学生支援課
野矢 厚	電気電子工学科
平松 雅宏	技術部

## = 日誌 =

### 2 月

- 1日 社会連携推進センター運営会議、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 2日 入試企画センター運営会議
- 5日 地域連携・国際交流委員会、就職ガイダンス
- 8日 役員会、入学者選抜委員会
- 9日 大学院博士前期課程入学試験（～10日）、大学院博士後期課程入学試験
- 12日 入学試験実施委員会、入学者選抜委員会
- 13日 公開講座
- 16日 入学者選抜委員会
- 17日 教授会、研究科委員会、研究推進機構統括会議、私費外国人留学生入学試験合格発表、大学院入学試験合格発表
- 19日 教務委員会
- 23日 入学者選抜委員会
- 24日 教育研究評議会、役員会、公務員試験対策短期集中講座（～27日）
- 25日 人を対象とする研究倫理審査委員会
- 26日 入学者選抜委員会、安全衛生講習会

### 3 月

- 1日 地元企業合同説明会、編入学入学手続（～9日）、大学院入学手続（～9日）
- 2日 研究推進機構統括会議、社会連携推進センター運営会議、合同企業研究セミナー（～9日）
- 3日 安全衛生講習会
- 4日 教務委員会、入学者選抜委員会
- 7日 教授会、研究科委員会、オホーツク地域エネルギー環境教育委員会、北見工業大学地域コア運営委員会、一般入試（前期日程）合格発表、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 8日 一般入試（前期日程）入学手続（～15日）、私費外国人留学生入学手続（～15日）
- 9日 入試企画センター運営会議、学術情報委員会
- 12日 一般入試（後期日程）個別学力検査
- 14日 教育研究評議会
- 15日 経営協議会、学長選考会議、役員会
- 16日 教務委員会、平成27年度工学連携推進型地域6次産業人材育成事業修了式
- 17日 入学者選抜委員会
- 18日 学位記授与式、発明審査委員会
- 19日 入学者選抜委員会
- 20日 一般入試（後期日程）合格発表
- 21日 一般入試（後期日程）入学手続（～27日）
- 26日 オホーツク医学大会